

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009001	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	etsukolawn@hotmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	非常勤講師控室 / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。 (2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。 (4) その会話の和訳を英訳できるようになる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p> <p>授業方法 (学習指導法) : 授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスンLACSを使って内容理解確認小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる内容理解確認小テスト (2) テキストを使用した演習 (グループワーク、Readers' theater 等の活動、あるいは配布物による学習を含む) (3) 3分間英語のみで会話 (4) 洋画視聴 (5分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します (パフォーマンス課題にはルーブリックを準備)。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers	
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	20%定期試験、40%授業への取り組み(授業への積極的な姿勢10%、内容理解確認小テストx12回/20%、提出課題4%、グループワーク及びReaders' theater 6%)、40%e-learning教材学習テスト(20% x 2回)を総合的に判断します。	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning自主学习(合計30時間程度) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、新しい単語、表現は確実に調べ、理解が不十分な点については質問できるように整理しておくこと。またLACSによる小テスト(12回実施予定)にむけた学習(1時間・回) ・ 復習: 教科書(の中の会話文は、口からついて出てくる程度音読の練習をすること)やプリント(毎レッスン視聴する洋画の字幕等)を再読しておくこと(30分・回) 	
キーワード/Keywords	音読、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book B with Online Self-study』 Cambridge University Press - ISBN: 978-1-108-62772-6を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	英語でコミュニケーションができると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /

4月12日	<p>第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。</p> <p>授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワーク(G/W)を通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特にスピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用し Readers' theater (朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、(Call教室を使用の場合は)自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属の Online Self-studyを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。*(G/W) Group workの省略</p> <p>オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)</p>	A B
4月19日	テキストShopping	A B
4月26日	Shopping *(G/W)	A B
5月10日	Shopping, (G/W)復習, e-learning内容確認他	A B
5月17日	Shopping, e-learning内容確認他	A B
5月24日	1回目e-learning 教材学習テスト テキスト In a restaurant, Readers' theaterの説明	A B
5月31日	Readers' theater *(G/W)	A B
6月7日	テキスト In a restaurant	A B
6月14日	In a restaurant *(G/W)	A B
6月21日	In a restaurant	A B
6月28日	テキスト Fun in the city, e-learning内容確認他	A B
7月5日	Fun in the city *(G/W) / Readers' theater *(G/W), e-learning内容確認他	A B
7月12日	2回目e-learning 教材学習テスト テキスト Fun in the city	A B
7月19日	Fun in the city, Review	A B
7月26日	Review	A B
8月2日	定期試験	E

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009002	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、経済学を含む幅広い分野のアカデミックな読み物を読む力を向上させることです。効果的に読むためのスキルの得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点をすることも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな英文を読むことができる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題(30%) + 期末テスト(30%) + e-learning 教材学習テスト(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計 30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) ・ 復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回)		
キーワード/Keywords	リーディングストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考(クリティカルシンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	オンラインリソースを使いますのでパソコンかタブレットを持参してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験に基づき、ビジネス英語について解説する。 第1回、ビジネスメール・メールのマナー他
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation, Icebreaking, Building community of learning
第2回	Icebreaking continued, Review quiz; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading one In the Presence of Animals
第3回	Review quiz from the past week; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1 Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading One: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading Two: Who moved my cheese?
第6回	e-learning 教材学習テスト(1回目); Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading one: An Unbreakable Code
第7回	Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading two: Languages Die Out, Taking History Along
第8回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage
第9回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading Two: Elephant Behavior
第10回	Review quiz from the previous; Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading One: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第11回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Social Psychology: Reading Two: Fourteen Years
第12回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading Two: Christo and Jeanne-Claude
第13回	e-learning 教材学習テスト(2回目); Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage; Review quiz from the previous; Chapter 7: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading One: What is Public Art?
第14回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 21st Century; Reading One: Swap Tree- Simple, Easy Online Trading
第15回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 22st Century; Reading Two: Heldemarie Schwermer
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009003	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	メールで連絡		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 10:20 ~ 11:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標 / Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40% Main activities 60% (mid- & final-tests 40%; Online study & Listening quiz 10%; Assignments 10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: 自律学習としてMyELTコンテンツを利用 (1h)		
キーワード / Keywords	MyELT, CEFR B1		
教科書・教材・参考書 / Materials	Lee, C., Johannsen, K.L., Chase, T. C. (2000). World English 3 3rd ed. Combo split. Boston: Cengage.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 オンラインリソース (MyELT) の自律学習		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.eltnl.com/worldenglish3e		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、課外の音読ドリルを習慣化しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st period	Orientation 1. My World English Online, MyELT 2. Textbook contents
2nd period	Unit 1A (Reading) Quality of life Workbook: Unit 1
3rd period	Listening quiz Unit 1 Unit 1 B: (Video) The world's biggest melting pot Workbook: Unit 1
4th period	Listening quiz Unit 1 Unit 2 A: (Reading) How memories are made Workbook: Unit 2
5th period	Listening quiz Unit 2 Unit 2 B: (Video) Can you really tell if a kid is lying? Workbook: Unit 2
6th period	e-learning教材学習テスト: 1st test Unit 3 A: (Reading) Is coffee in danger? Workbook: Unit 3
7th period	Listening test Unit 3 Unit 3 B: (Video) Tales of ice-bound wonderlands Workbook: Unit 3
8th period	Review Unit 1 A/B to Unit 3 A/B Midterm test
9th period	Unit 4 A: (Reading) Want a better job? Workbook: Unit 4
10th period	Listening quiz Unit 4 Unit 4 B: (Video) A life lesson from a volunteer firefighter Workbook: Unit 4
11th period	Listening quiz Unit 4 Unit 5 A: (Reading) A birthday to remember Workbook: Unit 5
12th period	Listening quiz Unit 5 Unit 5 B: (Video) Three things I learned while my plane crashed Workbook: Unit 5
13th period	e-learning教材学習テスト: 2nd test Unit 6 A: (Reading) The art bubble Workbook: Unit 6
14th period	Listening quiz Unit 6 Unit 6B: (Video) Antarctica Workbook: Unit 6
15th period	Review Unit 4 A/B to Unit 6 A/B Workbook Unit 4 to 6

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009004	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールでお願いします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	世界的に有名な企業や機関の取り組みと動向を海外メディアを通じてピックアップしたテキストを使い、現代社会グローバルビジネスにおける様々な課題と、それぞれの取り組みに関して英語で書かれたものを読み、その内容をまとめ直し、自分の意見を加えて表現できるように4技能を有機的に結び付けながら練習する。特に授業内ではペアワークを通して英語を使う機会を多く設定する。また、学期中、グループプレゼンテーションを通して自分の考えをわかりやすく発信することも学習する。		
授業到達目標 / Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1.世界的に有名な企業や機関の取り組みについて英語で理解し、その概要をわかりやすくまとめ英語で発信することができるようになる。 2.現代社会で、地域社会及び将来世代に貢献するためにどのようなことがなされているのか理解し、さらに、自分がどのような貢献ができるか考え意見交換をすることができるようになる。 3.プレゼンテーションでわかりやすく論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40% + 授業内での積極的な英語使用、及びプレゼンテーション 20% + 定期試験40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 予習: 次回の授業で扱う読み物を読み、問題を解いておく (1時間/回) グループプレゼンテーションのために、様々な情報を収集して準備をする (1時間/回)		
キーワード / Keywords	英語表現、やり取り、主体性、協働性		
教科書・教材・参考書 / Materials	塩見佳代子、Angus McGregor 他著『Challenges of Global Enterprises』(金星堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業の中では、学生が主体となって英語を使います。恥ずかしがらずに、積極的にクラスメートと関わって英語で会話をするようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 回目	Unit 1 Zara's Recipe for Success
2 回目	Unit 2 Airbnb's Challenge and New Direction
3 回目	Unit 3 Augmented Reality Ecosystem in Facebook
4 回目	Unit 4 Adidas Brings the Fast Shoe Revolution One Stop Closer
5 回目	Unit 5 At Toyota, the Automation Is Human-Powered
6 回目	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 How Starbucks Became a Successful Worldwide Brand
7 回目	Unit 7 McDonald's Modern Marketing Methods
8 回目	Unit 8 How TED Evolves and Where It Wants to Go Next
9 回目	Unit 9 Why Amazon Is the World's Most Innovative Company
1 0 回目	Unit 10 Sony Comes Back from the Brink
1 1 回目	Unit 11 IKEA's New Business Move for Millennials
1 2 回目	Unit 12 How Google Has Changed the World
1 3 回目	e-learning 教材学習テスト2回目 group presentation 準備
1 4 回目	グループ・プレゼンテーション
1 5 回目	Unit 14 With Disney's Move to Streaming, a New Era Begins
1 6 回目	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009005	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター 廣江研究室 (環境科学部東棟1階)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	論理的に大意を素早く、日本語であるいは英語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の大意を素早くつかみながら、まずは日本語で要約ができるようになる。 ・音読を、可能な限り、速いスピードでできるようになる。 ・リスニングにおいて、話者の意図を察することができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック及び課題(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: テキストの予習及び関連語彙や表現チェックに1時間/回 事後学習: 大意の把握と語彙・表現の確認に1時間/回		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円 (税別)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, テキストUnit1 "Polar Bears' World of Snow and silence"
第3回	Listening 2, テキストUnit2 "'Operation Frozen Dumbo' Gets Elephant Tonga Pregnant at Vienna Zoo"
第4回	Listening 3, テキストUnit3 "Divers' Paradise Palau"
第5回	Listening 4, テキストUnit4 "Horsemeat Scandal Set to Spur Tougher EU Food Tests"
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), テキストUnit5 "I've Always Dreamed of Flying Like a Bird"
第7回	Listening 5, テキストUnit6 "Supreme Court to Allow Online Retailing of Drugs"
第8回	DVD教材(1), テキストUnit8 "Jakarta's Weekend Farmers"
第9回	DVD教材(2), テキストUnit9 "Tales of a Tokyo Mother"
第10回	Grammar 1, テキストUnit11 "Farming Thrives in the Rust Belt"
第11回	Grammar 2, テキストUnit12 "London Calling -Japanese Food for the Masses"
第12回	Grammar 3, テキストUnit14 "Chocolate and Tomatoes"
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度) Grammar 4
第14回	Grammar 5, テキストUnit15 "The Never-Ending Quest for the Fountain of Youth"
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009006	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>英語力の向上を図るとともに、我々の置かれている状況を知ることを目指す。より具体的には、今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで大意を取る力(速読力)を育てることを目標とする。また、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す力を育てる。英語文章の構成を学び、全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係、取る練習をする。また、音声を用いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、スピーキング、ライティング、の力を増強し、英語による発信とコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の基礎力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。基本的な英語を、聞いて理解できる。</p> <p>基本的な英語を用いて、自分の言いたいことをある程度表現できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト (2回) 40%、定期試験40%、小テスト12%、授業での提出物と積極的な授業への参加8%。</p> <p>e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習：英語音声を、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目にとった大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(の予習部分)への準備をする。(1h/回) 復習：前回の学習内容がきちんと身につけているか、もう一度教材を読んでみる。前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それをういた自分の英文を書いてみる。さらに、小テスト(の復習部分)への準備をする。(30m/回)
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)
教科書・教材・参考書/Materials	Dave Rear, Science Arena, SEIBIDO, 1900円
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	第1回授業について：成績評価の基準やe-learning についての説明など重要な連絡があるので、必ず出席して下さい。第1回授業で学習するユニットの本文をきちんと予習して来て下さい。 毎回の授業について：毎回(初回とe-learning テストの回を除く)小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な人もいますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 2 The 10,000-hour Rule
第2回	Unit 3 Why are Human Brains So Big?
第3回	Unit 4 The Advances of Sports Science
第4回	Unit 5 The End of Modern Medicine?
第5回	Unit 7 The Hidden Benefits of Boredom
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(30分程度) Unit 8 Fighting the Menace of Mosquitoes
第7回	Unit 9 Growing Food in the Desert
第8回	Unit 11 Living of the Bottom of the World
第9回	Unit12 The Great Pacific Garbage Patch
第10回	Unit 13 The most Mysterious Star in the Universe
第11回	Unit 14 Space Flight for Everyone
第12回	Unit 15 Could Humans Live on Mars?
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(30分程度) Unit 18 The Future of High-Speed Travel
第14回	Unit 19 Computer Revolution
第15回	Unit 20 Clothes to Help You Move
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009007	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語力の向上を図るとともに、我々の置かれている状況を知ることを目指す。より具体的には、今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで大意を取る力(速読力)を育てることを目標とする。また、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す力を育てる。英語文章の構成を学び、全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係、取る練習をする。また、音声を用いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、ライティング、の力を増強し、英語による発信とコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の基礎力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。基本的な英語を、聞いて理解できる。</p> <p>基本的な英語を用いて、自分の言いたいことをある程度表現できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト(2回)40%、定期試験40%、小テスト12%、授業での提出物と積極的な授業への参加8%。</p> <p>e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習：英語音声を、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目にとった大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(の予習部分)への準備をする。(1h/回) 復習：前回の学習内容がきちんと身につけているか、もう一度教材を読んでみる。前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それをういた自分の英文を書いてみる。さらに、小テスト(の復習部分)への準備をする。(30m/回)
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)
教科書・教材・参考書/Materials	Reading Fusion 1, Andrew E. Bennett, NAN'UN-DO, ¥2,200+税(CD付き)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	第1回授業について：成績評価の基準やe-learning についての説明など重要な連絡があるので、必ず出席して下さい。第1回授業で学習するユニットの本文をきちんと予習して来て下さい。 毎回の授業について：毎回(初回とe-learning テストの回を除く)小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な人もいますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Music and the Mind
第2回	Unit 2 Body Language across Cultures
第3回	Unit 3 Turning Waste into Wealth
第4回	Unit 4 The Search for Other Worlds
第5回	Unit 5 Crowdsourcing
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(30分程度) Unit 6 Urban Landmarks
第7回	Unit 7 Food Safety
第8回	Unit 8 Spending a Fortune
第9回	Unit 9 Wonders of the Deep
第10回	Unit 10 Product Placement
第11回	Unit 11 White-Collar Crime
第12回	Unit 12 Working Disabled
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(30分程度) Unit 13 Pet Therapy
第14回	Unit 14 Quantum Computers
第15回	Unit 15 Breaking the Poverty Cycle
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009008	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールにて質問を受け付ける。a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業の前半では、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める。また、文法指導も同時に行い、英語の基礎をしっかりと固める。 後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ E-mailの構成、表現を身につける。 ・ 書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 ・ プレゼンテーションの技法 (構成、表現、態度) を身につける。 英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト (2回) : 40% (1回目20% + 2回目20%) 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 予習 : 事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習 : ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		
キーワード/Keywords	E-mail、Presentation		
教科書・教材・参考書/Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう	A B
第2回	E-mailの書き方（1） 先生に送るE-mailを想定し、構成について調べる 調べた結果と解説をもとに第1回目の授業で書いたE-mailを修正する	A B
第3回	E-mailの書き方（2） 書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する 第2回目の授業で修正したE-mailを先生に送るE-mailの表現として適切なものに書き換え、修正する	A B
第4回	E-mailの書き方（3） E-mailのタイトルのつけ方について学ぶ 解説後、第3回目の授業で修正したE-mailに適したタイトルを考える ペアになり、相互評価する	A B
第5回	E-mailの書き方（4） E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第6回	e-learning教材学習テスト（1回目） プレゼンテーション（1） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第7回	プレゼンテーション（2） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で2分間話す	A B
第8回	プレゼンテーション（3） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第9回	プレゼンテーション（4） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第10回	プレゼンテーション（5） 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする 資料を作成する	A B
第11回	発表 グループで英語のプレゼンテーションを行う 相互評価を行う	A B

第12回	<p>プレゼンテーション（6）</p> <p>振り返り</p> <p>他者のフィードバックをもとに個人、グループで振り返りを行う</p> <p>1人でプレゼンテーションを行うトピックを選び、プレゼンテーションの台本を作る</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第13回	<p>e-learning教材学習テスト（2回目）</p> <p>プレゼンテーション（7）</p> <p>よく使う表現を学ぶ</p> <p>1人でプレゼンテーションの台本を作成する</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第14回	<p>発表</p> <p>各自がプレゼンテーションを英語で行う</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第15回	<p>総復習と振り返り</p> <p>アンケートの実施</p>	<p>A</p> <p>B</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009009	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	まずは、メールにて質問を受け付ける。a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業の前半では、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める。また、文法指導も同時に行い、英語の基礎をしっかりと固める。 後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ E-mailの構成、表現を身につける。 ・ 書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 ・ プレゼンテーションの技法 (構成、表現、態度) を身につける。 英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト (2回) : 40% (1回目20% + 2回目20%) 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 予習: 事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習: ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		
キーワード / Keywords	E-mail、Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう	A B
第2回	E-mailの書き方（1） 先生に送るE-mailを想定し、構成について調べる 調べた結果と解説をもとに第1回目の授業で書いたE-mailを修正する	A B
第3回	E-mailの書き方（2） 書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する 第2回目の授業で修正したE-mailを先生に送るE-mailの表現として適切なものに書き換え、修正する	A B
第4回	E-mailの書き方（3） E-mailのタイトルのつけ方について学ぶ 解説後、第3回目の授業で修正したE-mailに適したタイトルを考える ペアになり、相互評価する	A B
第5回	E-mailの書き方（4） E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第6回	e-learning教材学習テスト（1回目） プレゼンテーション（1） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第7回	プレゼンテーション（2） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で2分間話す	A B
第8回	プレゼンテーション（3） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第9回	プレゼンテーション（4） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第10回	プレゼンテーション（5） 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする 資料を作成する	A B
第11回	発表 グループで英語のプレゼンテーションを行う 相互評価を行う	A B

第12回	<p>プレゼンテーション（6）</p> <p>振り返り</p> <p>他者のフィードバックをもとに個人、グループで振り返りを行う</p> <p>1人でプレゼンテーションを行うトピックを選び、プレゼンテーションの台本を作る</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第13回	<p>e-learning教材学習テスト（2回目）</p> <p>プレゼンテーション（7）</p> <p>よく使う表現を学ぶ</p> <p>1人でプレゼンテーションの台本を作成する</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第14回	<p>発表</p> <p>各自がプレゼンテーションを英語で行う</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第15回	<p>総復習と振り返り</p> <p>アンケートの実施</p>	<p>A</p> <p>B</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009010	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)、必要最低限の英語 (及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標 / Course goals	<p>英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。（2時間/回）
キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning教材学習テスト（1回目）、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009011	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 木3 金3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、DVDを用いて、必要な情報を探しながら、英語を聞き取る練習を行います。さらに、Dictation活動により、細部まで正確に聞き取る練習を行います。次に、DVDの中の表現から、重要なフレーズを覚え、自分のことを英語で表現する練習をします。最後には、DVDの内容を扱った英文をはやく、正確に読む練習をします。授業中に読んだ英文は、細部までの詳細な読みは課題として自宅で行い、翌週確認作業を行います。教科書の中で、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらうようにします。		
授業到達目標/Course goals	1) DVD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を90%理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、小テスト10%、プレゼンペーパー等の提出物や 授業でのアクティビティ10%で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられる英文教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード/Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書(テキスト): Talking About Our Campus (DVD付き)(英宝社) ¥2,300		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワード）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすです
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション テキストUnit 1
第2回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 1)
第3回	Power Words Unit 1~ Unit 20 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 2)
第4回	Power Words Unit 21~ Unit 40 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 3)
第5回	Power Words Unit 41~ Unit 50 小テスト Listening, Writing and Reading Reading (テキストUnit 4)
第6回	e-learning 教材学習テスト第1回目 Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第7回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第8回	Power Words Unit 51~ Unit 70 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 6)
第9回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 7)
第10回	Power Words Unit 71~ Unit 90 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 8)
第11回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 9)
第12回	Power Words Unit 91~ Unit 100 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 10)
第13回	e-learning 教材学習テスト第2回目 Listening, Writing and Reading (テキストUnit 11)
第14回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 12) テキスト教材を用いたプレゼン。 グループワーク等
第15回	テキスト教材を用いたプレゼン。 グループワーク等 総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009012	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkumagami nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめるためのプロセスを理解する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書各Unit最初のページの語彙を学習してくる。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 <ul style="list-style-type: none"> e-learning 自学自習(合計 30 時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回) 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	CNN 10 -Student News-, Vol.2 朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	限上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/13	Orientation
第2回: 4/20	Unit 1 Self-Introduction
第3回: 4/27	Unit 2
第4回: 5/11	Unit 3
第5回: 5/18	Unit 4
第6回: 5/25	第1回e-learning教材学習テスト Unit 5
第7回: 6/1	Unit 6
第8回: 6/8	Midterm
第9回: 6/15	Unit 7
第10回: 6/22	Unit 8
第11回: 6/29	Unit 9
第12回: 7/6	Unit 10
第13回: 7/13	第2回e-learning教材学習テスト Unit 11
第14回: 7/20	Unit 12
第15回: 7/27	Unit 13
第16回: 8/3	Final Exam

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009013	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (G(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階 言語教育研究センター内1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日13:00以降 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として、適宜、時事英語にふれる。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、基礎的な種々の速読スキル、リスニングストラテジーを身につけることができる。また、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることができる。さらに、動詞の中核イメージを理解し、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価は、e-learning学習(3Step + Power Words)(40%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 3StepとPower Wordsを用いてのe-learning学習は、2回のe-learning教材学習テストでもって評価する。1回目は、5/24-28、2回目は7/12-16の週に実施されます。 授業以外の学習による評価が、上記のように40%になるので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 授業で取り上げる動詞の基本イメージを理解するアプリを通して、英文をアウトプットできるように練習し毎週の小テストに備えること。さらに、授業で取り上げるストラテジーの復習を行うこと。これらの学習のためには、毎回2.0h程度の学習を要することになる。		
キーワード/Keywords	Reading, listening, and summarizing strategies		
教科書・教材・参考書/Materials	Better Health for Every Day (金星堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回、LACSにあげられる教材をもとに復習と小テストの準備を行うこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材などを用いて必ず復習すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明
第2回	速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.
第3回	速読(phrase reading)とLaughing will save you from going crazy.
第4回	速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox
第5回	速読(phrase reading) Don't stay away from natto.
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?
第7回	速読(phrase reading)とペアワーク(3), Turn-taking (2)
第8回	速読(phrase reading)とGetting a good night sleep is a challenge.
第9回	速読(phrase reading)とペアワーク(4), Current Issues
第10回	速読(phrase reading)とペアワーク(5), Chocolate and its magical power.
第11回	速読(phrase reading)とペアワーク(6), Processed Food.
第12回	速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Information gap practice (pair work (7)
第14回	IELTS Writing入門
第15回	速読(6)とsummarizing まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009014	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (G(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 多文化32番講義室 / SGHSS Lecture Room No.32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、TOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を適確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作成や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。 ・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20% 日頃の学習状況には、小テストのスコア、授業参加態度、課題の提出状況が含まれる。 上記の基準で60%以上の取得を合格とする		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・ 予習: LACSにアップロードする電子資料や動画、ウェブサイトを使って準備学習を行う (1時間 / 回) ・ 復習: 授業で配布されたハンドアウトを再読し、理解を確実にするよう努める (1時間 / 回)。 この予習・復習は、毎回、授業冒頭で行う小テストを受ける上で前提となる。		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。 参考書等は、講義中に提示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テストを中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/14	オリエンテーション & 配布資料1
第2回: 4/21	配布資料2
第3回: 4/28	配布資料3
第4回: 5/12	配布資料4
第5回: 5/19	配布資料5
第6回: 5/26	e-learning教材学習テスト (1) 配布資料6
第7回: 6/2	配布資料7
第8回: 6/9	中間課題
第9回: 6/16	配布資料8
第10回: 6/23	配布資料9
第11回: 6/30	配布資料10
第12回: 7/7	配布資料11
第13回: 7/14	e-learning教材学習テスト (2) 配布資料12
第14回: 7/21	配布資料13
第15回: 7/28	配布資料14
第16回: 8/4	期末課題

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009015	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nkn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部棟 515 or 527		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語の技能、特にリスニングの技能を高めるための授業である。リスニング力は4技能のうち最も基本となる技能であり、この技能が伸長することで他技能への良い波及効果も期待できる。受講者は各自のリスニング力伸長を目指し、音声・映像教材を用いて、シャドウイングを採り入れた学習を行う。</p> <p>なお授業は基本的にはオンライン(on demand型)で実施し、毎回課題の提出が要求される。但し、初回オリエンテーション及びリスニングのテスト(第2回・16回)、シャドウイングのテスト(第8回)、またe-learningのテスト(第6回・13回)の際には対面で授業を実施する予定である。特に、リスニングのテスト(第2回・16回)は必ず受けること。これを受けないと授業での技能伸長を測定することができず、成績を算定することが不可能となる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. シャドウイングの理論と実践を理解して、自ら学習することができる 2. 開講時よりも高い英語リスニング力を習得する 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の課題に対する取組20%。リスニングテストによる到達度、伸長度40% e-learning教材学習テスト 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning自学自習(合計30時間) ・ 毎回授業中に配布される課題を確認し、次の授業で活用できるようにしておく(1時間/回) ・ すでに授業で行った教材を使ってシャドウイングを行う。(1時間/回) 		
キーワード/Keywords	4技能、聴解力、シャドウイング		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回・16回に実施するリスニングテストを必ず受けること。 ・ オンライン回においては当日中の課題提出を必須とする。 		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習は積み重ねが大事であるので、継続的に学習に取り組むこと。 基本的にはオンラインで授業を実施するが、各回で課題を課す。この課題の提出がない場合は欠席とみなす。 また、特に2回行うリスニングテストを欠席した学生は、成績を算定するための資料がそろわないため、基本的には成績が出せないことになるので注意されたい。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校での2年間の実務経験を生かし、高大連携を意識した授業を実践し、学生の英語力伸長を図る。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation
第2回	Listening pre-test
第3回	Getting Information
第4回	Checking in a hotel
第5回	Asking for directions
第6回	e-learning教材学習テスト1回目
第7回	Renting a car
第8回	Shadowing Test
第9回	Ordering a meal
第10回	Shopping for clothes
第11回	Asking for a favor
第12回	Meeting a friend
第13回	e-learning教材学習テスト2回目
第14回	Checking out of a hotel
第15回	Expressing a preference
第16回	Listening post-test

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009016	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめるためのプロセスを理解する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書各Unit最初のページの語彙を学習してくる。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 <ul style="list-style-type: none"> e-learning 自学自習(合計 30 時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回) 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	CNN 10 -Student News-, Vol.2 朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	限上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/14	Orientation
第2回: 4/21	Unit 1 Self-Introduction
第3回: 4/28	Unit 2
第4回: 5/12	Unit 3
第5回: 5/19	Unit 4
第6回: 5/26	第1回e-learning教材学習テスト Unit 5
第7回: 6/2	Unit 6
第8回: 6/9	Midterm
第9回: 6/16	Unit 7
第10回: 6/23	Unit 8
第11回: 6/30	Unit 9
第12回: 7/7	Unit 10
第13回: 7/14	第2回e-learning教材学習テスト Unit 11
第14回: 7/21	Unit 12
第15回: 7/28	Unit 13
第16回: 8/4	Final Exam

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009017	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった英文の大意を素早くつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。 ・リスニングの際に、話者の意図を素早く捉えることができるようになる。 ・英語の要約をする際に、その構造を自家薬籠中のものにする。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: 課題と教材の予習(1時間/回) 事後学習: 解説された課題の見直し(1時間/回)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), プリント教材(5)
第7回	Listening 5, プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 7, プリント教材(10)
第12回	Listening 8, プリント教材(11)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), プリント教材(12)
第14回	Listening 9, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009018	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (F1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	F1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター 廣江研究室 (環境科学部東棟1階)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	論理的に大意を素早く、日本語であるいは英語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の大意を素早くつかみながら、まずは日本語で要約ができるようになる。 ・音読を、可能な限り、速いスピードでできるようになる。 ・リスニングにおいて、話者の意図を察することができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック及び課題(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: テキストの予習及び関連語彙や表現チェックに1時間/回 事後学習: 大意の把握と語彙・表現の確認に1時間/回		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円 (税別)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, テキストUnit1 "Polar Bears' World of Snow and silence"
第3回	Listening 2, テキストUnit2 "'Operation Frozen Dumbo' Gets Elephant Tonga Pregnant at Vienna Zoo"
第4回	Listening 3, テキストUnit3 "Divers' Paradise Palau"
第5回	Listening 4, テキストUnit4 "Horsemeat Scandal Set to Spur Tougher EU Food Tests"
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), テキストUnit5 "I've Always Dreamed of Flying Like a Bird"
第7回	Listening 5, テキストUnit6 "Supreme Court to Allow Online Retailing of Drugs"
第8回	DVD教材(1), テキストUnit8 "Jakarta's Weekend Farmers"
第9回	DVD教材(2), テキストUnit9 "Tales of a Tokyo Mother"
第10回	Grammar 1, テキストUnit11 "Farming Thrives in the Rust Belt"
第11回	Grammar 2, テキストUnit12 "London Calling -Japanese Food for the Masses"
第12回	Grammar 3, テキストUnit14 "Chocolate and Tomatoes"
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度)、Grammar 4
第14回	Grammar 5, テキストUnit15 "The Never-Ending Quest for the Fountain of Youth"
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009019	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (F2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	F2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解き、英語運用能力を高めます。		
授業到達目標 / Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われた総合的な学力を前提に、辞書無しでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 60% (平常点を含む) e-learning 教材学習テスト40% (1回目 20% + 2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	コナン・ドイルのシャーロック・ホームズの中から二作品を、問題を解きながら、作品の理解を深めてゆく。併せて、プリントをしようした学習も行う。		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (シャーロック・ホームズと巡るミステリーの旅) センゲージラーニング株式会社 (生協で購入のこと。) プリント		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	定期試験の受講資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するために、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095 - 819 - 2006 （FAX）0095 - 819 - 2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	状行中の携帯電話等の使用は禁止とします。遅刻もしないように。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction The Red-Headed League 毎回プリントの学習も行う
第2回	Unit 1 An Easy Job
第3回	Unit 2 Mr. Wilson Is Put to a Test
第4回	Unit 3 A Job Suddenly Ends
第5回	Unit 4 Holmes Gathers Information
第6回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 5 Setting the Trap
第7回	Unit 6 Holmes Explains the Plan
第8回	Introduction The Adventure of the Copper Beeches
第9回	Unit 7 A Job with Strange Requirements
第10回	Unit 8 The Work Begins
第11回	Unit 9 A Strange Observer
第12回	Unit 10 Miss Hunter Looks Around
第13回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 11 Mr. Holmes Has an Idea
第14回	Unit 12 Mr. Rucastle's Terrible Fate
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009020	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (F3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	F3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)、必要最低限の英語 (及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標 / Course goals	<p>英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。（2時間/回）
キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning教材学習テスト（1回目）、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009021	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmat_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館617号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	(1) TOEICの読解テストにも役立つように英文を正確に(精読), 早く(速読)読み解くことができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文等による発信)にも応用できる。		
授業到達目標 / Course goals	・TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) ・予め与えられた課題について、授業の到達目標を達成するために何を予習して調べる必要があるかを考えて取り組むことができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) ・プレゼンテーション等において、自分の考えや調べた内容を相手に分かりやすく伝えることができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト(英文中の重要な語句や表現・英作文) 第1回~2回の成績 40% (2) 授業時における発表内容 20% (3) e-learning教材学習テスト 40% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (4) 「便覧」にあるとおり、授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業で指定する予習(英語の単語の意味・発音、文の意味、筆者の主張)を辞書、参考書、教科書の注釈等を用いて調べてくること。 ・e-learning自学自習(合計30時間) ・事前学習として、授業で示された課題の下調べとそのまとめ(1h/回) ・事後学習として、当該授業で学んだことのミニレポート等の作成(1h/回)		
キーワード / Keywords	読解力(精読・速読), 表現力		
教科書・教材・参考書 / Materials	行方昭夫・川西 進・柴田稔彦・上島建吉(編注) College Reader for Everybody. 音羽書房鶴見書店。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	学生便覧を参照 .
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Maugham, "The Summer after the War" (1)
第2回	"The Summer after the War" (2)
第3回	"The Summer after the War" (3) and リスニング練習
第4回	"The Summer after the War" (4)
第5回	"The Summer after the War" (5)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 "The Summer after the War" (6) and リスニング練習
第7回	"The Summer after the War" (7)
第8回	"A Family Supper" (1)
第9回	"A Family Supper" (2) and リスニング練習
第10回	"A Family Supper" (3)
第11回	"A Family Supper" (4)
第12回	"A Family Supper" (5)
第13回	e-learning学習教材テスト2回目 "A Family Supper" (6)
第14回	"A Family Supper" (7)
第15回	"A Family Supper" (8) and リスニング練習
第16回	確認テスト(期末テスト)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009022	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	まずは、メールで質問は受け付けます。a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	対面授業では、DVDを用いて、必要な情報を探しながら、英語を聞き取る練習を行います。必要な情報を正確に聞き取れるように、Dictationを通して練習を行います。DVDの中の表現から、重要なフレーズを覚え、スピーキング、ライティングも含めて、自分のことを英語で発信する訓練を行います。		
授業到達目標 / Course goals	1. DVD教材を聞いて、必要な情報を正確に聞き取ることができる。 2. 教材で学ぶ語句や表現を使って自分のことを発信できるようになる。 3. 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4. 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントすることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト2回 : 40% 小テスト : 15% 授業への参加度 (プレゼン、提出物、授業への積極的な参加など) : 25% 期末試験 : 20% e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。 詳細については、1回目の授業 (オリエンテーション) で説明します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・ 予習 : 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) ・ 復習 : 授業内容を振り返り、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間 / 回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 (テキスト) : Talking About Our Campus (DVD付き) (英宝社) ¥2,300 教科書は、毎回使用しますので購入してください。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 1)
第3回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 2)
第4回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 3)
第5回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 4)
第6回	e-learning 教材学習テスト (1) Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第7回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 6)
第8回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 7)
第9回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 8)
第10回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 9)
第11回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 10)
第12回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 11)
第13回	e-learning 教材学習テスト (2) (対面) Listening, Writing and Reading (テキストUnit 12)
第14回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 13)
第15回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 14)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009023	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	メールで連絡してください		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日2時限目終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標 / Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40% クラスワーク 60% (中間・期末試験 40%、提出物・自律学習 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: 自律学習としてMyELTコンテンツを利用 (1h)		
キーワード / Keywords	MyELT, CEFR B1		
教科書・教材・参考書 / Materials	Lee, C., Johanssen, K.L., and Chase. R. T. (2020). World English 3e, Level 3, Combo Split A + Online Workbook.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 オンラインリソース (MyELT) の自律学習。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	eltnl.com/worldenglish3e		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、課外の音読ドリルを習慣化しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st period	Orientation 1. My World English Online, MyELT 2. Textbook contents
2nd period	Unit 1 A: (Reading) Quality of life Workbook: Unit 1
3rd period	Listening quiz Unit 1 Unit 1 B: (Video) The world's biggest melting pot Workbook: Unit 1
4th period	Listening quiz Unit 1 Unit 2 A: (Reading) How memories are made Workbook: Unit 2
5th period	Listening quiz Unit 2 Unit 2 B: (Video) Can you really tell if a kid is lying? Workbook: Unit 2
6th period	e-learning教材学習テスト: 1st test Unit 3 A: (Reading) Is coffee in danger? Workbook: Unit 3
7th period	Listening test Unit 3 Unit 3 B: (Video) Tales of ice-bound wonderlands Workbook: Unit 3
8th period	Review Unit 1 A/B to Unit 3 A/B Midterm test
9th period	Unit 4 A: (Reading) Want a better job? Workbook: Unit 4
10th period	Listening quiz Unit 4 Unit 4 B: (Video) A life lesson from a volunteer firefighter Workbook: Unit 4
11th period	Listening quiz Unit 4 Unit 5 A: (Reading) A birthday to remember Workbook: Unit 5
12th period	Listening quiz Unit 5 Unit 5 B: (Video) Three things I learned while my plane crashed Workbook: Unit 5
13th period	e-learning教材学習テスト: 2nd test Unit 6 A: (Reading) The art bubble Workbook: Unit 6
14th period	Listening quiz Unit 6 Unit 6B: (Video) Antarctica Workbook: Unit 6
15th period	Listening quiz Unit 6 Review Unit 4 A/B to Unit 6 A/B Workbook Unit 4 to 6

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009024	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nkn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部棟 515 or 527		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語の技能、特にリスニングの技能を高めるための授業である。リスニング力は4技能のうち最も基本となる技能であり、この技能が伸長することで他技能への良い波及効果も期待できる。受講者は各自のリスニング力伸長を目指し、音声・映像教材を用いて、シャドウイングを採り入れた学習を行う。</p> <p>なお授業は基本的にはオンライン(on demand型)で実施し、毎回課題の提出が要求される。但し、初回オリエンテーション及びリスニングのテスト(第2回・16回)、シャドウイングのテスト(第8回)、またe-learningのテスト(第6回・13回)の際には対面で授業を実施する予定である。特に、リスニングのテスト(第2回・16回)は必ず受けること。これを受けないと授業での技能伸長を測定することができず、成績を算定することが不可能となる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. シャドウイングの理論と実践を理解して、自ら学習することができる 2. 開講時よりも高い英語リスニング力を習得する 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の課題に対する取組20%。リスニングテストによる到達度、伸長度40% e-learning教材学習テスト 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning自学自習(合計30時間) ・ 毎回授業中に配布される課題を確認し、次の授業で活用できるようにしておく(1時間/回) ・ すでに授業で行った教材を使ってシャドウイングを行う。(1時間/回) 		
キーワード/Keywords	4技能、聴解力、シャドウイング		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回・16回に実施するリスニングテストを必ず受けること。 ・ オンライン回においては当日中の課題提出を必須とする。 		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習は積み重ねが大事であるので、継続的に学習に取り組むこと。 基本的にはオンラインで授業を実施するが、各回で課題を課す。この課題の提出がない場合は欠席とみなす。 また、特に2回行うリスニングテストを欠席した学生は、成績を算定するための資料がそろわないため、基本的には成績が出せないことになるので注意されたい。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校での2年間の実務経験を生かし、高大連携を意識した授業を実践し、学生の英語力伸長を図る。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation
第2回	Listening pre-test
第3回	Getting Information
第4回	Checking in a hotel
第5回	Asking for directions
第6回	e-learning教材学習テスト1回目
第7回	Renting a car
第8回	Shadowing Test
第9回	Ordering a meal
第10回	Shopping for clothes
第11回	Asking for a favor
第12回	Meeting a friend
第13回	e-learning教材学習テスト2回目
第14回	Checking out of a hotel
第15回	Expressing a preference
第16回	Listening post-test

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009025	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (J3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	J3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は遺伝子工学、医療、ロボット工学など多岐にわたる科学記事を通してScienceの知識を深めていきます。また、Active Learningでは、各Unitで取り扱ったテーマに関して、自身の見解を発表してもらいます。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現を身に着けることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + 定期試験 (40点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回) 		
キーワード / Keywords	認知科学、統計学、遺伝子工学、ロボット工学、医療、海洋生物学、化学工学、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Science at Hand (金星堂) 2,100円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.kinsei-do.co.jp/download/4103
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/8)	Introduction
第2回 (4/15)	Unit 1 Flowers Sweeten Up When They Sense Bees Buzzing
第3回 (4/22)	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Sorrym the Mona Lisa Is Not Looking at You
第4回 (5/6)	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Nearly One-Third of Americans Sleep Fewer Than Six Hours Per Night
第5回 (5/13)	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 There's No Limit on Longevity, But Getting Super Old Is Still Tough
第6回 (5/20)	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Chinese City Wants to Launch Fake Moon to Illuminate Its Streets
第7回 (5/27)	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6 Doctors "Grow" Ear for Transplant in Patient's Forearm
第8回 (6/3)	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 A German Grocery Chain Is Selling First-Of-Its-Kind "No-Kill" Eggs
第9回 (6/10)	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Why Scientists Want to Engineer Spicy Tomatoes
第10回 (6/17)	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Children Are Susceptible to Robot Peer Pressure
第11回 (6/24)	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 British Doctors May Soon Prescribe Art, Music, Dance, Singing Lessons
第12回 (7/1)	Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 This Remote Control Vest Trains Rescue Dogs Using Flashlights
第13回 (7/8)	Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Sans Forgetica Is the Typeface You Won't Forget
第14回 (7/15)	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 13 How Fish Farms Can Use Facial Recognition to Survey Sick Salmon
第15回 (7/29)	Unit 14 Whales Change Their Tune Every Few Years 総復習
第16回 (8/5)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009026	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (J1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	J1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:10 ~ 12:30, 14:30 ~ 15:00 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様なジャンルの英語を教材にして、海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。最近の話題や出来事について英語で情報を得ること、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝えること、身近な場面で遭遇する語彙・表現を使う会話演習を通じて、総合的な英語力を身につけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<p>テーマについて英語で情報を得ることを楽しみ、より広く深く考察できるようになる</p> <p>平易な英語で自分の考えを簡潔に伝えられるようになる</p> <p>音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる</p> <p>臆せずに英語でクラスメートと会話することを楽しめる</p> <p>自らの英語学習について継続して学びたいという意欲を持てるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト (2回) : 40%</p> <p>授業中の取り組み・発表 : 20%</p> <p>課題・小テスト : 20%</p> <p>期末テスト : 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習 (合計30時間)</p> <p>予習: 教材の予習および課題 (1時間/回)</p> <p>復習: 配布資料の音読と課題の見直し (30分/回)</p>		
キーワード / Keywords	英語4技能の習得		
教科書・教材・参考書 / Materials	配布・配信教材		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	テーマごとに英語の読解、リスニングや会話演習をします。最近の世界の話題（ニュース、SNS、スピーチ、映画等）から教材を紹介していきます。英語を教養として考え、情報を英語で収集することやアウトプットすることを楽しめるようになります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Course Introduction	A B
第2回	Listening & Reading (1): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第3回	Listening & Reading (2): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第4回	Listening & Reading (3): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第5回	Listening & Reading (4): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第6回	Listening & Reading (5): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第7回	e-learning 教材学習テスト 1回目 Speaking ペア・グループワーク	A B
第8回	Listening & Reading (6): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第9回	Listening & Reading (7): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第10回	Listening & Reading (8): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第11回	Listening & Reading (9): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第12回	Listening & Reading (10): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第13回	Listening & Reading (11): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第14回	e-learning 教材学習テスト 2回目 Speaking ペア・グループワーク	A B
第15回	Course Review	A B
第16回	Final Exam	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009027	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (J2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々なビジネスの場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正しく適切に選び取ることができるようになる。基本的な文法・構文・表現方法を使用することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-learning教材学習テスト40%(60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと(1時間/回) テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところははっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。 ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。 		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	吉塚弘『グローバル時代のビジネスコミュニケーション』(成美堂、2019年)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方とe-learningについての説明
第2回	Introducing Yourself 1(会話、リーディング)
第3回	Introducing Yourself 2(メール)
第4回	Introducing Companies 1(会話、リーディング)
第5回	Introducing Companies 2(メール)
第6回	Explaining Your Role 1(会話、リーディング、メール)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目、Explaining Your Role 2(メール)
第8回	Introducing Products 1(会話、リーディング)
第9回	Introducing Products 2(メール)
第10回	Checking Information(会話、リーディング、メール)
第11回	Giving Your Opinion (会話、リーディング、メール)
第12回	Making Requests 1(会話、リーディング)
第13回	ペア発表(ビジネスの一場面を英語で演じる)
第14回	e-learning学習教材テスト2回目、Making Requests 2(メール)
第15回	リスニング・リーディングのポイント確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009028	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部東棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語であるいは英語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった英文の大意を素早くつかみながら、日本語でまずは要約ができるようになる。 ・音読を可能な限り早くできるようになる。 ・品詞の転換が円滑にできるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック及び課題(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: テキストの予習及び関連語彙や表現チェックに1時間/回 事後学習: 大意の把握と語彙・表現の確認に1時間/回		
キーワード/Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Materials	『Talking About Our Campus』、英宝社、2,300円(税別)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, テキストUnit1 "Self-introduction (1)"
第3回	Listening 2, テキストUnit2 "Self-introduction (2)"
第4回	Listening 3, テキストUnit3 "Self-introduction (3)"
第5回	Listening 4, テキストUnit4 "Self-introduction (4)"
第6回	Listening 5, テキストUnit5 "Introduction of the former students"
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), テキストUnit6 "Interview (CSUMB)(1)"
第8回	DVD教材(1), テキストUnit7 "Interview (CSUMB)(2)"
第9回	DVD教材(2), テキストUnit8 "Interview (CSUMB)(3)"
第10回	Grammar 1, テキストUnit9 "Interview (CSUMB)(4)"
第11回	Grammar 2, テキストUnit10 "Campus Tour (CSUMB)(1)"
第12回	Grammar 3, テキストUnit11 "Campus Tour (CSUMB) (2)"
第13回	Grammar 4, テキストUnit12 "Campus Tour (CUNY) (3)"
第14回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), テキストUnit14&15 "Campus Tour (3)&(4) (CUNY)"
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009029	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々なビジネスの場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正しく適切に選び取ることができるようになる。基本的な文法・構文・表現方法を使用することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-learning教材学習テスト40%(60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと(1時間/回) テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないうときは、「何がわからないのか」を明らかにしてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところははっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。 ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。 		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	吉塚弘『グローバル時代のビジネスコミュニケーション』(成美堂、2019年)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方とe-learningについての説明
第2回	Introducing Yourself 1(会話、リーディング)
第3回	Introducing Yourself 2(メール)
第4回	Introducing Companies 1(会話、リーディング)
第5回	Introducing Companies 2(メール)
第6回	Explaining Your Role 1(会話、リーディング、メール)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目、Explaining Your Role 2(メール)
第8回	Introducing Products 1(会話、リーディング)
第9回	Introducing Products 2(メール)
第10回	Checking Information(会話、リーディング、メール)
第11回	Giving Your Opinion(会話、リーディング、メール)
第12回	Making Requests 1(会話、リーディング)
第13回	ペア発表(ビジネスの一場面を英語で演じる)
第14回	e-learning学習教材テスト2回目、Making Requests 2(メール)
第15回	リスニング・リーディングのポイント確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009030	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T7		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:10 ~ 12:30, 14:30 ~ 15:00 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様なジャンルの英語を教材にして、海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。最近の話題や出来事について英語で情報を得ること、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝えること、身近な場面で遭遇する語彙・表現を使う会話演習を通じて、総合的な英語力を身につけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<p>テーマについて英語で情報を得ることを楽しみ、より広く深く考察できるようになる</p> <p>平易な英語で自分の考えを簡潔に伝えられるようになる</p> <p>音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる</p> <p>臆せずに英語でクラスメートと会話することを楽しめる</p> <p>自らの英語学習について継続して学びたいという意欲を持てるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト (2回) : 40%</p> <p>授業中の取り組み・発表 : 20%</p> <p>課題・小テスト : 20%</p> <p>期末テスト : 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習 (合計30時間)</p> <p>予習: 教材の予習および課題 (1時間/回)</p> <p>復習: 配布資料の音読と課題の見直し (30分/回)</p>		
キーワード / Keywords	英語4技能の習得		
教科書・教材・参考書 / Materials	配布・配信教材		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	テーマごとに英語の読解、リスニングや会話演習をします。最近の世界の話題（ニュース、SNS、スピーチ、映画等）から教材を紹介していきます。英語を教養として考え、情報を英語で収集することやアウトプットすることを楽しめるようになります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Course Introduction	A B
第2回	Listening & Reading (1): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第3回	Listening & Reading (2): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第4回	Listening & Reading (3): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第5回	Listening & Reading (4): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第6回	Listening & Reading (5): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第7回	e-learning 教材学習テスト 1回目 Speaking ペア・グループワーク	A B
第8回	Listening & Reading (6): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第9回	Listening & Reading (7): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第10回	Listening & Reading (8): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第11回	Listening & Reading (9): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第12回	Listening & Reading (10): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第13回	Listening & Reading (11): プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B
第14回	e-learning 教材学習テスト 2回目 Speaking ペア・グループワーク	A B D
第15回	Course Review	A B
第16回	Final Exam	A D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009031	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T8) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語力の向上を図るとともに、我々の置かれている状況を知ることを目指す。より具体的には、今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで大意を取る力(速読力)を育てることを目標とする。また、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す力を育てる。英語文章の構成を学び、全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係、取る練習をする。さらに、音声を用いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、スピーキング、ライティング、の力を増強し、英語による発信とコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の基礎力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。基本的な英語を、聞いて理解できる。</p> <p>基本的な英語を用いて、自分の言いたいことをある程度表現できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト(2回)40%、定期試験40%、小テスト12%、授業での提出物と積極的な授業への参加8%。</p> <p>e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習：英語音声を、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目取った大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(の予習部分)への準備をする。(1h/回) 復習：前回の学習内容がきちんと身につけているか、もう一度教材を読んでみる。前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それをういた自分の英文を書いてみる。さらに、小テスト(の復習部分)への準備をする。(30m/回)
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)
教科書・教材・参考書/Materials	Andrew Bennett, Reading Pass 3 Second Edition, NAN ' UN-DO, 2300円+税
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	第1回授業について：成績評価の基準やe-learning についての説明など重要な連絡があるので、必ず出席して下さい。第1回授業で学習するユニットの本文をきちんと予習して来て下さい。 毎回の授業について：毎回(初回とe-learning テストの回を除く)小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な人もいますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Pro Gaming
第2回	Unit 2 The Blogosphere
第3回	Unit 3 Organic Food
第4回	Unit 4 Franchises
第5回	Unit 5 Character Culture
第6回	Unit 7 Unlocking Motivation
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(30分程度) Unit 9 The End of Privacy
第8回	Unit 10 Going Carbon Neutral
第9回	Unit 12 It pays to be the CEO.
第10回	Unit 13 London
第11回	Unit 14 Web 2.0
第12回	Unit 16 Insourcing
第13回	Unit 17 Space Colonies
第14回	e-learning教材学習テスト2回目(30分程度) Unit 19 Lost Arts
第15回	Unit 20 Stem Cells
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009032	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。一方で、英文を正確に読むための文法理解も確認する。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、e-learning課外学習も組み入れてリスニング力・語彙力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	1. 平易な英語で書かれていれば、社会の問題について書かれた英文でも理解できるようになる。 2. わかりやすく話された英語であれば、ビジネスや社会のことについての会話でも理解できるようになる。 3. 簡単な内容についての自分の意見を、文で相手に伝えることができるようになる。 4. 英文の質問に対する自分の意見などを、平易な英文で書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(ディクテーションを含む) 30% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 学習参加度+学習報告書15% e-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%) オンライン授業となった場合は、評価配分を変更する可能性があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 各回の授業の予習として、各ユニットの語彙クイズ(Key Vocabulary)をして、Reading Passageを読んでくることを課題とする(30分~1時間/回)。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととDVDのシャドウイングをしておくことを課題とする。授業の学習全体を振り返って学習報告書としてまとめ毎回授業後に提出する(30分~1時間/回)。テキスト内容の理解については、授業中のReview Quizや中間テスト、定期テストで確認する。		

キーワード/Keywords	Repetition is the mother of learning.
教科書・教材・参考書/Materials	Alice Gordonker /John Rucynski 『Working in Japan』 Cengage Learning, 2015
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障害学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World
第4回	Unit 3: Love Sells Cars
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service
第7回	e-learning教材学習テスト 1回目 Unit 6: Toast Your Success!
第8回	中間テスト
第9回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change
第13回	Unit 11: Connect Workers With Companies
第14回	e-learning教材学習テスト 2回目 Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention
第15回	Unit 13: What's the Recipe for Success
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009033	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	連絡はメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標 / Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above クラスコンテンツを用いた音読drill F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40% クラスワーク 60% (中間・期末試験 40%、提出物・自律学習 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: 自律学習としてMyELTコンテンツを利用 (1h)		
キーワード / Keywords	MyELT, CEFR, B1		
教科書・教材・参考書 / Materials	Lee, C., Johannsen, K.L., Chase, T. C. (2000). World English 3 3rd ed. Combo split. Boston: Cengage.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 オンラインリソース (MyELT) の自律学習。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.eltngl.com/worldenglish3e		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、課外の音読ドリルを習慣化しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st period	Orientation 1. My World English Online, MyELT 2. Textbook contents
2nd period	Unit 1A (Reading) Quality of life Workbook: Unit 1
3rd period	Listening quiz Unit 1 Unit 1 B: (Video) The world's biggest melting pot Workbook: Unit 1
4th period	Listening quiz Unit 1 Unit 2 A: (Reading) How memories are made Workbook: Unit 2
5th period	Listening quiz Unit 2 Unit 2 B: (Video) Can you really tell if a kid is lying? Workbook: Unit 2
6th period	Listening quiz Unit 2 Unit 3 A: (Reading) Is coffee in danger? Workbook: Unit 3
7th period	e-learning教材学習テスト: 1st test Unit 3 B: (Video) Tales of ice-bound wonderlands Workbook: Unit 3
8th period	Review Unit 1 A/B to Unit 3 A/B Midterm test
9th period	Unit 4 A: (Reading) Want a better job? Workbook: Unit 4
10th period	Listening quiz Unit 4 Unit 4 B: (Video) A life lesson from a volunteer firefighter Workbook: Unit 4
11th period	Listening quiz Unit 4 Unit 5 A: (Reading) A birthday to remember Workbook: Unit 5
12th period	Listening quiz Unit 5 Unit 5 B: (Video) Three things I learned while my plane crashed Workbook: Unit 5
13th period	Listening quiz Unit 5 Unit 6 A: (Reading) The art bubble Workbook: Unit 6
14th period	e-learning教材学習テスト: 2nd test Unit 6B: (Video) Antarctica Workbook: Unit 6
15th period	Listening quiz Unit 6 Review Unit 4 A/B to Unit 6 A/B Workbook Unit 4 to 6

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009034	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、文化、技術、環境、医療など、多岐にわたる分野の最新の動向やそれに伴う課題などを扱う英文記事を通して、世界の現状についての知見を広げると同時に、読解力工場のため、既習文法の再確認に取り組みます。		
授業到達目標 / Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + 定期試験 (40点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回)		
キーワード / Keywords	英字新聞、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Insights 2021 (金星堂) 1,900円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/9）	Introduction
第2回（4/16）	Chapter 1 Accepting Diversity
第3回（4/23）	Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 Washi Helps Us Get Through Summer
第4回（5/7）	Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 The Secrets of the Ocean Floor
第5回（5/14）	Chapter 3 内容理解確認小テスト Chapter 4 What Messages Resonate with You?
第6回（5/21）	Chapter 4 内容理解確認小テスト Chapter 5 Let's Change the World from #KuToo
第7回（5/28）	e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 6 Spiders Will Change the Fashion Industry
第8回（6/4）	Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 Sharp Decline in Butterfly Population
第9回（6/11）	Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 Volcanic Ash Attracts Tourists
第10回（6/18）	Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 Seeking Work-Life Balance
第11回（6/25）	Chapter 9 内容理解確認小テスト Chapter 10 For the Empowerment of Women
第12回（7/2）	Chapter 10 内容理解確認小テスト Chapter 11 Setting up Lanes for Self-Driving Cars
第13回（7/9）	Chapter 11 内容理解確認小テスト Chapter 12 High School Hawker Scaring Away Nuisance Birds
第14回（7/16）	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13 Fusion of AI with Human Sensibility
第15回（7/30）	Unit 14 Infrastructure Inspection Using Drones 総復習
第16回（8/6）	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009035	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめるためのプロセスを理解する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書各Unit最初のページの語彙を学習してくる。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 <ul style="list-style-type: none"> e-learning 自学自習(合計 30 時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読み、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回) 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	CNN 10 -Student News-, Vol.2 朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	限上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/9	Orientation
第2回: 4/16	Unit 1 Self-Introduction
第3回: 4/23	Unit 2
第4回: 5/7	Unit 3
第5回: 5/14	Unit 4
第6回: 5/21	Unit 5
第7回: 5/28	第1回e-learning教材学習テスト Unit 6
第8回: 6/4	Midterm
第9回: 6/11	Unit 7
第10回: 6/18	Unit 8
第11回: 6/25	Unit 9
第12回: 7/2	Unit 10
第13回: 7/9	Unit 11
第14回: 7/16	第2回e-learning教材学習テスト Unit 12
第15回: 7/30	Unit 13
第16回: 8/6	Final Exam

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009036	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	まずは、メールにて質問を受け付ける。a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業の前半では、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める。また、文法指導も同時に行い、英語の基礎をしっかりと固める。 後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ E-mailの構成、表現を身につける。 ・ 書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 ・ プレゼンテーションの技法 (構成、表現、態度) を身につける。 英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト (2回) : 40% (1回目20% + 2回目20%) 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 予習 : 事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習 : ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		
キーワード / Keywords	E-mail、Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう	A B
第2回	E-mailの書き方（1） 先生に送るE-mailを想定し、構成について調べる 調べた結果と解説をもとに第1回目の授業で書いたE-mailを修正する	A B
第3回	E-mailの書き方（2） 書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する 第2回目の授業で修正したE-mailを先生に送るE-mailの表現として適切なものに書き換え、修正する	A B
第4回	E-mailの書き方（3） E-mailのタイトルのつけ方について学ぶ 解説後、第3回目の授業で修正したE-mailに適したタイトルを考える ペアになり、相互評価する	A B
第5回	E-mailの書き方（4） E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第6回	プレゼンテーション（1） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第7回	e-learning教材学習テスト（1回目） プレゼンテーション（2） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で2分間話す	A B
第8回	プレゼンテーション（3） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第9回	プレゼンテーション（4） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第10回	プレゼンテーション（5） 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする 資料を作成する	A B
第11回	発表 グループで英語のプレゼンテーションを行う 相互評価を行う	A B

第12回	<p>プレゼンテーション（6）</p> <p>振り返り</p> <p>他者のフィードバックをもとに個人、グループで振り返りを行う</p> <p>1人でプレゼンテーションを行うトピックを選び、プレゼンテーションの台本を作る</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第13回	<p>プレゼンテーション（7）</p> <p>よく使う表現を学ぶ</p> <p>1人でプレゼンテーションの台本を作成する</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第14回	<p>e-learning教材学習テスト（2回目）</p> <p>発表</p> <p>各自がプレゼンテーションを英語で行う</p>	<p>A</p> <p>B</p>
第15回	<p>総復習と振り返り</p> <p>アンケートの実施</p>	<p>A</p> <p>B</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009037	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、文化、医療、経済、スポーツなど、多岐にわたる分野の最新の動向やそれに伴う課題などを扱う新聞記事を通して、世界の現状についての知見を広げると同時に、新聞英語の特徴を学びます。		
授業到達目標 / Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + 定期試験 (40点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Meet the World 2021 (成美堂) 2,000円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/9)	Introduction
第2回 (4/16)	Unit 1 103-year-old Italian says 'courage, faith' helped beat virus
第3回 (4/23)	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Ichibanya curry receives favorable reaction in India
第4回 (5/7)	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Japan kyogen actor seeks popularity in France
第5回 (5/14)	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Vienna to reward carless travel with tickets
第6回 (5/21)	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 New system eyed to reuse EV batteries
第7回 (5/28)	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 AI algorithm can produce common cancer diagnoses
第8回 (6/4)	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Osaka University transplants iPS heart cells in world first
第9回 (6/11)	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Foreign visitors' consumer complaints rise
第10回 (6/18)	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Tokyo govt testing reward points for SDG-friendly activities
第11回 (6/25)	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Itochu to launch business to recycle marine plastic waste
第12回 (7/2)	Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 U.S. lets autonomous vehicle bypass human-driver safety rules
第13回 (7/9)	Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Hopes growing for lifting of China's ban on Japanese food products
第14回 (7/16)	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13 Forming of disaster relief teams by teachers spreads across nation
第15回 (7/30)	Unit 14 Space X's historic encore: Astronauts arrive at space station 総復習
第16回 (8/6)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009038	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (K1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkumagami nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめるためのプロセスを理解する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書各Unit最初のページの語彙を学習してくる。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 <ul style="list-style-type: none"> e-learning 自学自習(合計 30 時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回) 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	CNN 10 -Student News-, Vol.2 朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	限上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/9	Orientation
第2回: 4/16	Unit 1 Self-Introduction
第3回: 4/23	Unit 2
第4回: 5/7	Unit 3
第5回: 5/14	Unit 4
第6回: 5/21	Unit 5
第7回: 5/28	第1回e-learning教材学習テスト Unit 6
第8回: 6/4	Midterm
第9回: 6/11	Unit 7
第10回: 6/18	Unit 8
第11回: 6/25	Unit 9
第12回: 7/2	Unit 10
第13回: 7/9	Unit 11
第14回: 7/16	第2回e-learning教材学習テスト Unit 12
第15回: 7/30	Unit 13
第16回: 8/6	Final Exam

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009039	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	K2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	(1)映画を題材にした教材を用い、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2)映画とその文化的、社会的背景を読み解く。		
授業到達目標 / Course goals	映画と時代背景の社会との相互関係を知る。リスニングの練習のより映画の英語を聞き取れるようになる。作品に登場する英語表現を学んで国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 20% 小テスト、出席、授業への取り組み 40% e-learning教材学習テスト 40% 計 100点のうち 60点以上が合格		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 授業前の予習 (各2時間)、次回小テストのための復習 (各2時間) 必須		
キーワード / Keywords	映画と文化的背景		
教科書・教材・参考書 / Materials	Boost your skills for the TOEIC Test with Casablanca (EIHOSHA)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除いて5回欠席 (2回遅刻で1回欠席とみなす) で失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (自己紹介、授業の進め方、評価等の説明)
第2回	Act 1 (Everybody comes to Rick's) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第3回	Act 2 (Waiting in Casablanca) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第4回	Act 3 (I stick my neck out for nobody) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第5回	act 4 (Your business is politics) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第6回	Act 5 (A lot of water under the bridge) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Review 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第8回	Act 6 (Here's looking at you) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第9回	Act 7 (It hasn't changed) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第10回	Act 8 (At the Blue Parrot) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第11回	Act 9 (Pro-Vichy or Free French) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第12回	Act 10 (La Marseillaise) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第13回	Act 11 (Destiny has taken a hand) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第14回	e-learning教材学習テスト2回目 Review 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第15回	Act 12 (We'll always have Paris) 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第16回	期末試験